

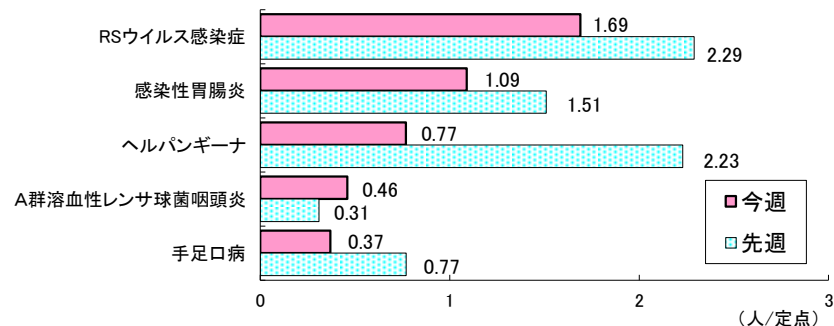


【第38週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

- RSウイルス感染症は、県全体で26%減少しています。保健所別では、大館、秋田中央、横手で増加、湯沢で同規模、秋田市、能代、由利本荘、大仙で減少しています。
- 感染性胃腸炎は、県全体で28%減少しています。保健所別では、北秋田で増加、大館、湯沢で同規模、秋田市、能代、秋田中央、由利本荘、大仙、横手で減少しています。
- ヘルパンギーナは、県全体で65%減少しています。保健所別では、大仙で同規模、秋田市、大館、北秋田、能代、由利本荘、横手、湯沢で減少しています。

秋田県の定点医療機関における主要5疾患の発生規模



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

(人/定点)

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減			
RSウイルス感染症	2.29	1.69	↘	4.29	1.29	↘	0.50	1.00	↗				1.67	1.33	↘		1.00	↗	1.50	1.25	↘	1.75	0.50	↘	6.67	7.00	↗	2.50	2.50	
インフルエンザ	0.02		↘																0.17		↘									
咽頭結膜熱	0.20	0.14	↘	0.29		↘	0.50	0.75	↗							0.50	0.50											0.25		↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.31	0.46	↗	0.57	1.29	↗										0.25	0.75	↗	0.50		↘	0.25	0.25			0.33	↗	0.75	0.50	↘
感染性胃腸炎	1.51	1.09	↘	2.00	1.57	↘	1.25	1.25		1.00	1.50	↗	3.00	1.67	↘	1.25	1.00	↘	1.00	0.75	↘	0.50	0.25	↘	2.33	0.33	↘	1.25	1.25	
水痘	0.06	0.03	↘	0.14	0.14																						0.33		↘	
手足口病	0.77	0.37	↘	1.43	0.14	↘	0.25		↘				0.67		↘	1.00		↘	1.50	2.50	↗	0.75	0.50	↘				0.25		↘
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.14	0.14		0.14		↘	0.25		↘		1.00	↗					0.50	↗	0.25		↘	0.25	0.25					0.25		↘
ヘルパンギーナ	2.23	0.77	↘	2.00	0.43	↘	2.50	0.25	↘	6.00	2.00	↘	3.67	0.67	↘				1.50	1.00	↘	0.25	0.25		1.67	1.33	↘	4.75	2.00	↘
流行性耳下腺炎	0.06		↘	0.14		↘																						0.25		↘
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*											*	*	
流行性角結膜炎	0.14	0.14		0.33	0.33					*	*		*	*		*	*											*	*	
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	2.50	2.25	↘	1.00		↘				6.00	6.00		5.00	2.00	↘	*	*					1.00		↘	2.00	1.00	↘	5.00	9.00	↗
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、大仙保健所管内から1人、報告されました。
・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から6人、湯沢保健所管内から1人、報告されました。
・四類感染症のレジオネラ症が能代保健所管内から1人、報告されました。
・五類感染症の梅毒が大仙保健所管内から1人、百日咳が秋田市保健所管内から1人、横手保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

Table with 5 columns: 類型, 疾患名, 1週-37週 (全国, 秋田), 38週 (秋田). Rows include 一類 (エボラ出血熱, クリミア・コンコ出血熱, etc.), 二類 (急性灰白髄炎, 結核, etc.), 三類 (コレラ, 細菌性赤痢, etc.), 四類 (E型肝炎, ウエストナイル熱, etc.), 五類 (アメーバ赤痢, ウイルス性肝炎, etc.).

(人)

Table with 5 columns: 類型, 疾患名, 1週-37週 (全国, 秋田), 38週 (秋田). Rows include 四類 (チクングニア熱, つつが虫病, etc.), 五類 (アメーバ赤痢, ウイルス性肝炎, etc.).

トピック

<腸管出血性大腸菌感染症にご注意を！>

秋田県では今年、第38週までに症状のない方を含めて36件の腸管出血性大腸菌感染症の届出がありました。例年、10月以降は報告数が減少する傾向にありますが、原因となる腸管出血性大腸菌は感染力が強く、二次感染が疑われる例や全国では集団感染も報告されていますので、今後も継続して予防に心がけてください。

■腸管出血性大腸菌

腸管出血性大腸菌は、ペロ毒素と呼ばれる毒素を出す大腸菌です。大腸菌は菌体表層の抗原性の違いによって180種類以上の型があり、この他にも様々な型が感染の原因となります。国内ではO157がよく知られています。

■症状

感染から3~8日の潜伏期間の後、腹痛下痢に続いて血便(出血性大腸炎)を発症することがあります。患者の一部では、腎不全を伴う溶血性尿毒症候群や脳症といった重い合併症を併発する場合があります。特に、小児や高齢者は重症化のリスクが高いとされています。

■予防のポイント

- トイレの後、動物に触れた後、食品を扱う際は、石けんを使ってよく手を洗いましょう。
○食品を取り扱う際は、次のことを注意しましょう。
・75℃1分以上を目安とした十分な加熱をする。
・調理器具(まな板、包丁、ふきん、さいばし、スポンジなど)をよく洗う。
・調理後、早めに食べる。

感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症による集団発生報告が1件ありました。

発生届出日 平成30年9月21日
受付保健所 由利本荘保健所
施設名称 下川大内保育園
有症者数 園児54名のうち13名
職員22名のうち1名 計14名
把握期間 8月27日から9月20日まで

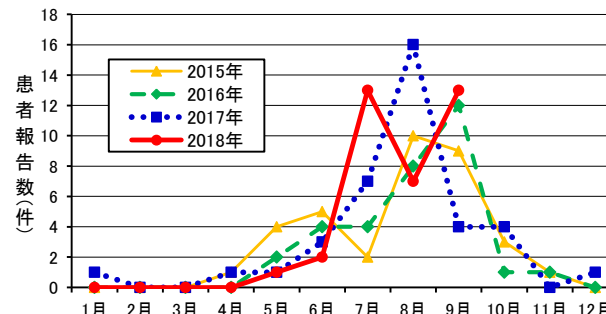


図 秋田県における腸管出血性大腸菌感染症の報告数 (平成30年第38週現在)



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
ヘルパンギーナ	-	北秋田(2.00)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		